

名詞性並列構造“茶壺茶碗”について

鈴木慶夏

体词性联合结构“茶壺茶碗”（记作“A B型”）与“茶壺、茶碗”（记作“A、B型”）、“茶壺和茶碗”（记作“A和B型”）有何不同？以往的研究主要描写并列成分的先后顺序和不同连词的异同或用法，似乎没有对不同类型联合结构的语义差别做出研究。本文着重讨论无并列标记的“A B型”联合结构之语义特点和语法性质。文章指出，A、B型“茶壺、茶碗”是说话者逐一举出所关心的语义对象，也有可能在说话者心目中还有其他并列成分的存在；A和B型“茶壺和茶碗”是说话者举尽所关心的语义对象；而A B型“茶壺茶碗”是构成一套或一组概念的几个成员都齐全时所出现。也就是说，说话者所关心的语义对象经过何种心理过程就影响不同类型联合结构的形式选择。文章还论及，有些A B型联合结构在提出一个上位概念的“典型例示”这一语法特点上与比况型联合结构有共同之处。

- 0 問題提起
- 1 “茶壺茶碗”的意味的特徴
 - 1.1 各並列構造形成の心的過程と意味的特徴
 - 1.2 A B型並列構造“茶壺茶碗”とA和B型並列構造“茶壺和茶碗”
- 2 関連する現象
 - 2.1 A B型並列構造と比況性並列構造
 - 2.2 動詞性並列要素が生起するA B型並列構造

0 問題提起

『実用漢語課本（2）』¹⁾に次の課文があり、

- (1) 茶壺茶碗都好看，也很便宜，一共三十块零四毛。

「茶壺」と「茶碗」の間に接続詞“和”がなくてもよいのか」という質問があがった。また、『キンバースライフ中国語』²⁾では、第14課での前置詞“和”的習得前に、第3課で次の課文があり、

- (2) 日本同学都知道，我爸爸妈妈也都知道。

「中国語では“爸爸”と“妈妈”的間に接続詞がなくてもよいのか」という質問があがった³⁾。質問者の直感的なイメージとしては、接続詞が生起しない並列形式はものめずらしく映るようである。

これまで、並列構造については、各並列要素の生起順序や“和”と“与”“及”などの接続詞の異同や用法をめぐる問題に論議が集中しており⁴⁾、接続詞やポーズ（書き言葉では読点）という並列標識（coordination marker）の生起／不生起による意味的差異に関わる記述は未だ

されていないようである。しかしながら、周知のとおり、中国語は明示的な形式標示が極めて少ない言語であり、“茶壺茶碗”的ように並列標識が生起しない名詞性並列構造も、中国語の形式的な特徴が反映された現象である可能性がある。実際に、このような並列構造は小説などでも頻繁に見受けられる。例えば、

(3) 杨泊听见送牛的人在街口那里吹响哨子，一些新鲜活泼的人声市声开始了一天新的合奏。
苏童《离婚指南》

(4) 它究竟意味着什么呢？专家学者当其实说的话还有多少是正确的废话呢？

余世存：九一一和我《新语斯 www.wys.org》

(5) 小屋里有床，床上有新褥新被。
刘庆邦《白煤》

(6) 一面抢还一面说：“这些到那儿都用不着了”把她的衣裳雨鞋书蜡烛和梳子镜子都拿走了。
郑万隆《天网》

本稿では、並列標識が生起しない名詞性並列構造（以下、A B型と略記する）がどのような意味的特徴をもつのか、主に、接続詞が並列標識となる名詞性並列構造（以下、A和B型と略記し、接続詞は全て“和”で代表する）と比較しながら考察を行う。

1 “茶壺茶碗”の意味的特徴

1.1 各並列構造形成の心的過程と意味的特徴

名詞性並列構造には、A B型・A和B型のほかに、下例(7-10a)のようにポーズ（読点）が並列標識となるものや（以下、A、B、C型と略記する）、下例(7-10b)のようにポーズと接続詞が併用されるものもある（以下、A、B和C型と略記する）⁵⁾。

(7a) 我们对生活、未来、西方世界的某种不安，似乎也跟它有关。

余世存：九一一和我《新语斯 www.wys.org》

(7b) 我们对生活、未来和西方世界的某种不安，似乎也跟它有关。
作例

(8a) [……] 九一一是否毁掉了我们对文明、生命的信心。

余世存：九一一和我《新语斯 www.wys.org》

(8b) [……] 九一一是否毁掉了我们对文明和生命的信心。
作例

(9a) 每个人都有理想、追求，[……]

作例

(9b) 每个人都有理想与追求，[……]

胡建强《独步长江》

(10a) [……]，并建起了电力、机械、汽车修配、制氧等工业。

胡建强《独步长江》

(10b) [……]，并建起了电力、机械、汽车修配和制氧等工业。

作例

A、B、C型とA、B和C型の最も顕著な相違は、A、B、C型では「AやBやC…」と順次（場合によっては思いつくままに）並列要素を挙げていくが、まだ挙げていないものの存在も暗示され得るのに対し、A、B和C型では並列要素の列挙が終了しているということである。

名詞性並列構造“茶壺茶碗”について（鈴木）

例えば、(7a) の “生活、未来、西方世界” と (7b) の “生活、未来和西方世界” を比較すると、前者は不安を抱いている対象が「生活」「未来」「西洋世界」以外にもまだ何かあることを排除できないが、後者は不安を抱く対象が「生活」「未来」「西洋世界」の三つであることを表している⁶⁾。(8) ~ (10) も同様である。

寺村（1984）は、名詞句の並列標識となる「と」「や」「も」の相違を記述し、「と」は並列要素を全部列挙し（机とベッドと冷蔵庫がある）、「や」は一部だけを挙げて他にもあることを暗示するという（机やベッドや冷蔵庫がある）。中心的な意味や用法としては、「と」と「や」の相違は“和”とポーズの相違に平行する。

ここでは、並列要素の提示のし方と構造形式のタイプに着目し、定延（2000）での論考と寺村（1984）での記述を概略下のように整理する。下線を引いた構造形式が中国語の名詞性並列構造である。

	分布ミスマッチ		分布マッチ	
並列標識 [CM] の生起位置 ⁷⁾	A - [CM] B	A [CM] - B	A [CM] B [CM]	A [CM] B [CM]
意味的特徴	並列要素を順次挙げていく： A · B · C は並列要素の一部で、他にも並列要素の存在が暗示されることもある	並列要素を全部挙げる： [CM] は次の要素で並列が終了することを表す	並列要素がそろって挙げられる	
表現形式	A や B A に B <u>A, B</u>	A と B <u>A 和 B</u>	A と B と A も B も	<u>A B</u>
形式の形成過程において、産出の対象となっている並列要素	より古いもの： A と B では A ; B と C では B <u>A - や B</u> <u>B - や C</u>	より新しいもの： A と B では B ; B と C では C <u>A [と - B]</u> <u>B [と - C]</u>	特定なし	

分布ミスマッチと分布マッチは定延（2000）での用語である。定延（2000）は英語の and を挙げ（A, B and C），このような接続詞が生起する並列形式を分布ミスマッチと呼ぶ。「並列要素 A · B · C のうち C は特別である」場合，A, B and C は意味と形式の分布がマッチしているが，「並列要素 A · B · C が意味的に全く同等である」場合も，A, B and C と

いう形式を採用することができるから、並列標識 and は三名詞句 A · B · C を形式的には同等に扱っていないというのである⁸⁾。

定延（2000）では、各並列形式形成の心的過程を次のように説明する。分布ミスマッチの“A [CM] B [CM] C”において、いま言語形式製作の対象となっている意味要素は、心内で情報管理を行う作業領域にある参照情報のうちより古いものであり（例：A-やB-やC）、“A (, B) [CM] C”においては、いま言語形式製作の対象となっている意味要素は、心内で情報管理を行う作業領域にある参照情報のうちより新しいものである（例：A (, B) と-C）。一方、分布マッチの“A [CM] B [CM] C [CM]”では（AとBとCと、AもBもCも）、いま言語形式製作の対象となっている意味要素が心内の参照情報のうちのどれであるのかは特定されない。要するに、並列形式にいくつかのタイプがあるのは、言語形式の作成が進行する過程において心内で行われる情報処理のし方に差異があるからだということである。

分布ミスマッチのA、B型並列構造とA和B型並列構造を見てみると、

- (11) 茶具，是指与泡饮茶叶用的茶壺、茶碗、茶杯、茶盤等等，[……]
- (12) 再放几个木墩子作凳，桌上摆的是粗瓷的茶壺和茶碗，[……]

(11) では、「急須に…」「茶飲み茶碗に…」「湯飲みに…」というように、関心の対象となる並列要素が順次挙げられていくがまだ他に同列に列挙される要素も存在し得る。(12) では、関心の対象となる並列要素を「(ほかでもなく) 急須と茶飲み茶碗」と挙げ切る。

では、中国語の分布マッチA B型 “茶壺茶碗” において、“茶壺” と “茶碗” は話者にとってどのように関心の対象となっているのだろうか。

1.2 A B型並列構造 “茶壺茶碗” と A和B型並列構造 “茶壺和茶碗”

ネイティブによると、上用例 (1) の “茶壺茶碗” には “和” を生起させることはできないという。“茶壺” と “茶碗” はセットだからである。また、(2) のような “爸爸妈妈” は “爸爸和妈妈” よりよく使うという。確かに、“爸爸” と “妈妈” は「親のセット」である。ネイティブの内省によれば、ある一組のセットを構成する要素を並列する時には “和” は生起しないことになる。

親族名称は、二項対立の対概念から構成される一組のセットであると見なせる。下例のA B型を見ると、

- (13) 我老爷老娘就是在他家扛的长工。 刘震云《温故一九四二》
- (14) 如今爹妈都不在了，[……] 徐坤《乡土中国》
- (15) 我代表我爸我妈、我两个弟弟、我儿子以及我们远在黑龙江的全家，今天回来认祖归宗，落叶归根了，[……] 徐坤《乡土中国》
- (16) 冷餐馆里也可能去几次，那是带孩子去喝汽水，老夫老妻用不着装阔气，花不了几个钱，[……] 陆文夫《清高》

名詞性並列構造“茶壺茶碗”について（鈴木）

- (17) 总听您提起我的姑姑叔叔们，辱贱他们都在哪儿？ 徐坤《乡土中国》
- (18) 她眼睁睁地看着这些和她一起干活、被她称作大爷大娘大哥大嫂的老乡，一个一个从她屋里洗劫而去。 郑万隆《天网》
- (13)～(15)では「父と母」から成るセット、(16)では「夫と妻」から成るセットというよう、A B型のAとBは「何らかの意義づけで括られる一組のセットの構成員がそろうこと」を表す。(18)にも同様のことがいえるが、ここでは“大爷”と“大娘”が“大爷大娘”というセットを、“大哥”と“大嫂”が“大哥大嫂”というセットを構成し、これら二つのセットが“大爷大娘大哥大嫂”というセットを構成している。

では、“和”が生起してもしなくてもよい並列構造や、“和”が生起しないのが一般的とされる並列構造に、“和”を生起させるとどのような意味的差異が生じるのか。作文や記事のタイトルとしては，“茶壺和茶碗”や“爸爸和妈妈”的ようにA和B型を採用するのが自然であるが、テクストによっては，“茶壺茶碗”に敢えて“和”を生起させ“茶壺和茶碗”とすると、他に受け皿などの物も存在し、そのようないくつかの要素の中から（ほかでもなく）きゅうすと湯飲みを取り上げるという意味合いが生じ，“爸爸和妈妈”も、（ほかでもなく）お父さんとお母さんを選び出し取り上げるというニュアンスを帯びる。下例では、

- (19) 她说此刻她爸她妈不在家。见我没反映，她又强调了一遍她爸她妈不在家。这之前我与肖乔甚至连朋友也说不上，可是突然间她把我弄得必须得为她做点什么。[……]

她又说了一遍她爸和她妈不在家。 铁疑《対面》

A B型によって「お父さんもお母さんもいない」と言われ、なお反応を見せない“我”に対して、A和B型によって「お父さんとお母さんはいない」と念をおす。

つまり、A和B型は、いくつかの要素の中から「これとこれ」と提示する要素を選び出し、A B型は、あるセットを構成する要素を「これもこれも」とそろって提示する。A B型並列構造の意味的特徴は、ほぼ、寺村（1984）での「も」に対する記述に対応する。

A B型並列構造には、上用例(1)(2)(6)(14)のように統括副詞“都”が共起したり、下例のように、数量詞が共起するものもあるが、

- (20) 老陈家的一杆同胞亲戚们，都脸蛋冻得红扑扑的，[……] 徐坤《乡土中国》
- (21) 陈刚自封为老陈家下一辈的老大，率领一干弟弟妹妹们给长辈一一敬酒。 徐坤《乡土中国》

これは、何らかの意義づけでひとまとめになる要素がそろうことをいっそう明確にする。

下例におけるA B型のAとBは、中国の言語社会において意味あるセットと見なされ得る構成員である。

- (22) 他家在西门大街开了间饮食小店，专卖包子馒头。 陆明《拳师》
- (23) 冷的时候，三九天冷得你不敢出门。出门也行，像你这身体，得多穿衣裳，棉裤

棉袄, [……]

《中国相声精粹：老老年》

また、下例 A B型の A と B は、一般常識や社会通念によって、話者が聞き手に了解されるものと暗黙裡に考えるセットの構成員であるといえる。

- (24) 事后肖乔夸奖了我，她甚至激动得哭起来，任鼻涕眼泪乱七八糟地往下流。

范小青《酒画》

- (25) 其实老金和老胡他们两个人的过去现在以及未来都不会是一样的，这是不用怀疑的，他们的性格脾气习惯也不会是一样的，这也同样不用怀疑，[……]⁹⁾

铁疑《对面》

このように、A B型並列構造は、何らかの意義付けで括られるセットの構成員をそろって挙げる時に採用される。それは、上のように特定の言語社会や一般社会で意義づけられるセットの要素をそろって提示する場合や、下例のように特定のテクストのもとで意義づけられたセットの要素をそろって提示する場合がある。

- (26) 这样看来，两个字连在一起，顺着四声和阴阳的次序，发音就省力一些；反之，就费力一些。这个连续的省力和费力的差别很细小，我们不容易自觉地感觉到。但是四声八调发音的省力费力我们是可以感觉到的。¹⁰⁾

〈并列式双音词的字序〉陈爱文 于平《中国语文》1979, 2

- (27) 本文说明“情状”与“方式”“原因”不是处于互相对立的关系之中，而是“情状”“方式”“原因”之间的这种联系在现代汉语的许多词语上面体现出来，在其他语言里也有体现，[……]¹¹⁾

〈“怎么”的语法意义及“方式”“原因”和“情状”的关系〉，郭继懋
《汉语学习》2001:6

- (28) 老娘：“还不是逃荒。你二老娘一股人，三老娘一股人，都去山西逃荒了。现在我二老娘、三老娘早已经不在了。”二老娘死时我依稀记得 [……]

从一九四八年当到一九七二年，竟没有置下一座像样的房子，被村里人嘲笑不已。放下二老娘三老娘我问：“老娘，你呢？” 刘震云《温故一九四二》

- (29) 一九四二年夏到一九四三年春，河南发生大旱灾，景象令人触目惊心。大旱之后，又遇蝗灾。灾民五百万，占全省人口的百分之二十。“水旱蝗汤”，袭击全省一百一十个县。 出典同上

- (30) 在某一重大演出的关键时刻，A角突然得了生病，发烧发得胡言乱语、神志不清，完全不能按照剧本的要求，说、念、唱、白，举手投足；或火车亲嘴、飞机迫降、汽车跑掉了轱辘，不能按时到场的意外。[……] 然后A角临风泪落，怨恨生病火车飞机汽车…… 张洁《脚的骚动》

(26) は論文からの引用であるが、論議の過程で“省力”と“費力”という要素が導入され、当該テクストにおいて「並列式二音節語の構成に影響を与える要因」という意義付けをされた

一組のセットの構成員として“省力”と“費力”をそろって提示する時A B型が採用されている。(27)にも同様のことがいえる。論説文などでは、このように“A”や“B”などを用いて当該テクストでその並列要素がどう意義づけられるのかを明確にし、A和Bで挙げるべき要素は「これとこれ」と明示してからA B型を生起させる方が、聞き手／読み手が論旨の流れをより正確に理解し得ることになる。

小説などでも同様に、(28)では“二老娘”と“三老娘”が当該テクストに導入され、“二老娘”と“三老娘”をめぐって叙述が展開すると意義付けられてから、A B型の“二老娘三老娘”が採用されている。(30)の“生病火车飞机汽车”¹²⁾に至っては、テクスト無しには何のことと言おうとしているのか理解しがたく、A B型という形式が当該テクストにおいて何らかの意義付けを与えられた要素から成ることを端的に示している。

2. 関連する現象

最後に、A B型並列構造と関連する現象を二点挙げる。

2.1 A B型並列構造と比況性並列構造

A B型並列構造の中には、並列要素AとBが必ずしも字面上の意味に解釈されるとは限らないものもある。

(31) “水旱蝗汤”，袭击全省一百一十个县。农民吃草根树皮，饿莩遍野。

刘震云《温故一九四二》

(32) 然后我在纽约街头巧遇一个祖籍苏格兰的消防队员的丧礼，能想像苗族侗族的丧礼出现在北京上海广州街头吗？ 余世存：九一一和我《新语斯 www.wys.org》

(33) [……]，因为从子民臣民黎民，到市民国民公民，还有漫长的路要走；

余世存：九一一和我《新语斯 www.wys.org》

(31)の“草根树皮”は字面どおりに「草の根も木の皮も食べた」と意味解釈され得るが、「何でも食べた」と意味解釈される可能性も否めない。(32)の“苗族侗族”と“北京上海广州”は具体的な指示物として理解するよりは、「少数民族」と「大都市」を表すための典型例を並列させたと理解する方が自然ではないだろうか。(32)は、「大都市の街角で少数民族の葬儀を目にするなどを想像できるだろうか」、(33)は「前近代的な民から近代市民へ」と意味解釈できる。

これらの並列構造をA和B型にすると、並列要素AとBは具体的な指示物を指す方向に大きく傾く（例えば，“草根和树皮”“苗族和侗族”“北京、上海和广州”）。したがって、上のA B型並列構造は、AとBが何らかの意義づけで統括される上位概念を汎説するための典型例として並列された、比況性並列構造の一種である。このように、意味解釈のされ方が比況性並列構

造にもつながるということも、AB型並列構造がA和B型並列構造と文法的性格を異なる点である。

2.2 動詞性並列要素が生起するAB型並列構造

動詞性並列構造にも、並列標識が生起するものと生起しないものがある。

(34) [……] 或火车亲嘴、飞机迫降、汽车跑掉了轱辘，不能按时到场的意外。然后A角临风泪落，怨恨生病火车飞机汽车……为什么偏偏这时发烧亲嘴迫降掉轱辘？

(30) の後続テクスト

(35) 他每天上午做二十斤面粉，揉面擀面包糖馅包子和蒸馒头。陆明《拳师》

(34) では、ポーズ（読点）が並列標識となるA、B型（“火车亲嘴、飞机迫降、汽车跑掉了轱辘”）と並列標識が生起しないAB型（“发烧亲嘴迫降掉轱辘”）が採用されており、(35) ではAB型とA和B型が併用されている。各構造形式を比較すると、AB型並列構造は、当該テクストや一般社会で何らかの意義づけで括られるセットの構成員をそろって挙げているという意味的特徴が見出される。下例も同様である。

(36) 热真热，热得白天不敢出门。[……] 放鸡放鸭子放羊都得赶阴天。

《中国相声精粹：老老年》

(37) [……]，看人家逢年过节走亲戚串门子热热闹闹，怎么就我们一家孤苦伶仃，像是从石头缝里蹦出来的？徐坤《乡土中国》

以上のように、並列要素が動詞性のものでも、形式的にはAB型、A、B型、A和B型という三タイプがある。さらに、動詞性並列構造には“而”や“又”などが生起するものもあるが、動詞性並列構造の各タイプの意味的差異はどのようなものなのだろうか。また、それは名詞性並列構造の各タイプにおける意味的差異と並行する対応関係があるのか。あるとしたら、それは中国語の文法のしくみの中でどのような位置づけを得るのか。このような視点から形容詞性の並列要素からなる並列構造を含めた各種並列構造を観察してみると、中国語に対する一步掘り下げた認識を得られるかもしれない。

注

- 1) 外国人用中国語入門コース標準テキスト『実用漢語課本』北京語言学院編。
- 2) 初級テキスト『キャンパスライフ中国語』荒川清秀等著、2002、白帝社。
- 3) 接続詞“和”を未だ習得していない段階で、この表現を構成する各語を並べ替え正しい文をつくるという試験問題では、正解者28人中7人が“爸爸”と“妈妈”的間に読点を入れている。
- 4) 《現代汉语八百词》などの辞典類も含む。研究例については参考文献を参照。
- 5) ここでは、ポーズと“和”が生起する並列構造の意味的特徴を明確にするため、並列要素が三項以上あるものも挙げる。
- 6) A、B、C型で並列要素を挙げるにしても、A、B和C型で並列要素を挙げるにしても、不安を抱く対象には、その他に「仕事」「老後」「日常の瑣事」などさまざまなもののが存在し得るが、このような穿鑿は本稿での論議には不要である。本節では、話し手／書き手が言語表現の対象として関

名詞性並列構造“茶壺茶碗”について（鈴木）

- 心をもつ並列要素をどう提示しようとするかを考察する。
- 7) **[CM]**は coordination marker のことであり、**[CM]**は並列標識が生起しないことを示す。言語により、**[CM]**は並列要素に前接する場合と（例えば、**[CM] - A**, **[CM] - B, C**）、後接する場合がある（**A - CM**, **B - CM, C**）が、ここでは一律に要素に後接するものとして記す。
- 8) 中国語の“和”にも同様のことがいえる。並列要素が三項以上の場合、接続詞は最後の二項目間に生起する（《現代汉语八百词》：265）。
- 9) “他們的性格脾气习惯”は、「彼らの性格も気性も習慣も（違う）」と意味解釈されるだけでなく、「彼らは何もかも（違う）」と意味解釈されることも可能である。この場合、並列要素A・B・Cは具体的な指示対象をもたず虚指的で、A・B・Cそれぞれが何らかの意義付けで括られる上位概念の典型例として挙げられている。このような現象については、2.2で言及する。
- 10) “省力”と“費力”は動詞性の並列要素であるが、朱徳熙（1982）で記述されるように、“和”で接続されるとその構造形式は名詞性並列構造としての文法的性質をもつ。
- 11) 本節では、並列構造のA B型がA和B型とどう異なるのかを明確にするため、(27)の“‘情状’与‘方式’‘原因’”のように、並列要素A・B・CのうちAがBとCとは意味的に別格である故に接続詞が最終要素Cに前接せずAとBの間に生起する用例も例示する。
- 12) “生病”は動詞性であるが、動詞性の並列要素については次節2.1で言及する。

参考文献

- 朱徳熙 1982 《语法讲义》商务印书馆；杉村博文・木村英樹（訳）『文法講義』1995白帝社
周生亚 1989 并列连词“与、及”用法辨析，《中国语文》第2期
蒋宗许 1990 《并列连词“与、及”用法辨析》质疑，《中国语文》第2期
呂叔湘主编 1999 《现代汉语八百词（增订本）》商务印书馆
李卫中 2002 “非A不B”与“不X不Y”格式的比较，《汉语学习》第3期
薛健 2002 试析连词“与”的分界功能，《汉语学习》第3期
王薇 2002 现代汉语动词性联合结构联合项位次的研究，《汉语学习》第2期
李晗蕾 2002 名名并列式标题的修辞分析，《汉语学习》第5期
李宗江 2002 并列成分的层次标记，《汉语学习》第5期
大河内康憲 1969 「重疊形式と比況性連合構造」『大阪外国语大学学報』21号：
寺村秀夫 1984 並列的接続とその影の統括命題——モ、シ、シカモノの場合——
『日本語学』8卷8号、明治書院、1984、8月；『寺村秀夫論文集I』1992くろ
しお出版
定延利之 2000 『認知言語論』大修館書店